

鵜住居地区復興まちづくり協議会・地権者連絡会 議事要旨

記

- 日時 平成 25 年 11 月 3 日（日）18 時 30 分～20 時 30 分
- 場所 仮設鵜住居小学校 体育館
- 次第

1. 復興まちづくり協議会会長代行あいさつ

地権者連絡会会長あいさつ

釜石市長 野田武則あいさつ

2. 復興事業の進捗状況について

- ・ 土地利用計画の調整を進めつつ、用地買収の対象について画地ごとの価格算定中。
- ・ 算定作業終了後、用地交渉に入る。
- ・ 区画整理事業の起工承諾を約 8 割の方からいただいております、着手可能となった箇所より順次、工事を進めていく。
- ・ 復興公営住宅については、皆様が希望する戸数に見合う用地を確保できるよう進めているが、仮換地作業中のため現段階では明確な場所はお示しできない。

3. 住宅再建意向調査の中間集計結果について

- ・ 10 月 10 日時点の回収率は、67.8%。
- ・ 今回が最終の調査となることから引き続き回収率向上に向けて作業中。
- ・ 回答の全体傾向として、住宅の自力再建の希望者が増えている。
- ・ 自力再建増加の理由としては補助等の拡充に基づくものと思われる。一方、公営住宅は減少している。
- ・ 現在、更なる回収率向上を図った上で、計画への反映を図っていく。

4. 公共施設の配置計画について

(1) メモリアルパーク整備に係る検討状況について

- ・ 21 名で構成する検討委員会を設置。
- ・ 委員会は、これまでに 4 回開催し、先進事例（中越メモリアル回廊）の調査も実施。
- ・ 市民も参加できるシンポジウムを開催予定。
- ・ 全市的な見地からメモリアルパークのあり方や具体の設置場所、時期などについて継続検討中。パブリックコメントを経て、今年度中に基本構想の策定予定。

(2) 駅前交流拠点の検討状況について

- ・ 交流拠点施設、津波拠点施設 2ha のうち、約 3,000 m²について検討。
- ・ スポーツ施設やイベント広場との関連性を考慮しながら、どのような施設が良いかを年度末にかけて交流拠点のあり方を検討していく。

(3) スポーツ施設整備に係る検討状況について

- ・ 従来、学校跡地に施設整備を計画していたが、まちづくり協議会を経る中で駅前への要望があり、学校跡地にはグラウンド等を配置し、駅前には体育館を配置する予定。

(4) JR 山田線の復旧について

- ・ JR 及び国に対し、平成 23 年度から鉄道の早期復旧に対する要望を継続実施。
- ・ JR 山田線公共交通確保会議や JR 山田線復興調整会議において、JR から BRT（バス高速輸送システム）による仮復旧の提案があったが、最善案ではないと判断し、沿線 4 自治体でこの提案を拒否している状況である。また、復旧の要望と合わせて利用促進策を検討していく。

(5) 五葉寮跡地の土地利用について

- ・ 国土交通省南三陸国道事務所は、昨年 4 月に仮設の庁舎を開所し、復興支援を行っているところである。
- ・ 現在の庁舎は手狭となっており、新庁舎を建設したいと考えている。
- ・ 具体的な場所としては、土地区画整理事業の区域外にある五葉寮跡地に、南三陸国道事務所の庁舎及び消防屯所を計画している。
- ・ 鶴住居地区にとっても防災機能の向上や 100 人規模の職員が生活することからまち再生のきっかけなどとしてもメリットがあると考えている。
- ・ 今後、住民の皆様の意見も踏まえて、計画を詰めて行きたいと考えている。

5. 釜石片岸・鶴住居地区震災復興事業安全祈願祭について

- ・ 大林組を含む 5 社の共同企業体が事業者として選定された。
- ・ 住民の皆様の関心が高い詳細な工程計画については、今後、情報提供していきたい。
- ・ 起工承諾を得たところから工事を開始。
- ・ 安全祈願祭は、明日 10 時～スーパーみずかみ跡地で開催。
- ・ 主催は、5 社の共同企業体で行い、市長の出席も予定。

6. 意見交換について

自力再建の敷地面積は 80 坪との話だが、現在、仮設住宅が建っている所も 80 坪か。

→ そのとおりです。

南三陸国道事務所の規模は？

→ 建築面積で約 1400 m²の 2 階建の計画と予定しています。

消防屯所ができることで道路線形が変わることにならないか？

- 国道は現在よりもなめらかな線形に見直します。道路が取り付く位置次第では、必要に応じて交差点の計画を見直しし、形状は変わっていきます。

南三陸国道事務所は復興が終わるとなくなるのか。将来の計画があれば教えて欲しい。

- 三陸沿岸自動車道を早期に完成させようと人員を増やして対応しています。その後の計画については、今の時点では決まっています。

→道路完成後もずっと居続けて、地区の活性化に繋げて欲しいとの意見がありました。

五葉寮跡地の利用案とのことであるが、決定事項ではないのか？

- 区画整理区域内における復興公営住宅の配置計画を優先的に考え、見通しがたってきたところです。現状では、近くの区画整理区域外ですぐに用地が確保できる市有地が適地と考えています。

市としては、三陸沿岸の復興の要の機関であり、市内に事務所があることはありがたく、前向きに協力していきたいと考えています。

鵜住居地区は市内最大の津波被害地。展示交流施設は、公共施設との併設でなく単独での設置を希望します。

- 祈りのパークについては鵜住居地区を中心に早めに設置することで検討中であり、展示交流施設はまだ決まっておりませんが、今後、検討委員会を中心に検討していきます。

復旧、復興が着実に進んでいることに感謝します。一方で、住宅は遅れており、商業者にとっても人の流れなど将来のまちの姿が想像しにくい。特に駅前という場所が復旧、復興には非常に大事な空間である。国及び JR に働きかけを強化して欲しい。

- JR に対して山田線の復旧を要望してきているところですが、なかなか良い返事してもらえていない状況です。

体育館や交流センターなど市の重要な公共施設を計画していることから、JR に利用促進策の提示も含め、復旧の働きかけを引き続き行っていきます。

（意見）学校跡地にラグビーワールドカップ 2019 誘致を目指したグラウンド整備をお願いする。

これまで生きることが精いっぱいであったが、鵜住居に活気を、子ども達に夢を持ってもらえる計画を進めて欲しい。

また、国の機関にも鵜住居にずっといていただけるような活気ある鵜住居にしていきたい。

JR 山田線部分を三陸鉄道にしていれば良いのではないかと？

- 第3セクターで運営してきた会社で、市や県も大きな負担をしています。今後、赤字路線の市の負担が増えることは厳しいと考えており、現状としては JR に復旧を要望していきます。
- いつまでもよい返事がもらえない場合には、次の方法を考えなければなりません。が、現時点では今すぐにその考えはありません。

鉄道は、三陸の悲願でもあった。是非とも復旧をお願いしたい。

- 市も同じ思いです。
- ただし、JR は民間の会社であり経営判断が働きます。
- 震災前は一日 700 人の利用者でした。経営上は 2000 人利用しないと成り立たないということです。震災前の利用人数に戻していけるかが課題です。復旧後に市民が使うかどうかを考えていかなければなりません。利用客増加の検討もセットで提案し、JR に働きかけを行っていきます。

追悼施設の場所などについては、まち協へ参加の皆様にも意見を聞いて、検討委員会に戻していくやり方はいかがでしょうか？（メモリアルパークの検討委員）

- 追悼施設については、鶴住居地区への設置を求める意見も多いことから、まちづくり協議会等の意見を参考にして検討を進めたいと思います。

住宅再建の調査について聞きたい。自力再建希望者が増え、集合住宅が 27 戸と減っている。入居希望者が減るとどうなるのか？戸建てタイプになるのか？

また、商売している人達にとっては人の流れも関係するため、どのような場所への配置を考えているのか？

- 日向地区については、集合住宅として県が施工する予定であり、現在、仮設住宅がある対岸辺りで計画されています。その他の公営住宅の場所は、区画整理区域内で用地買収の状況や意向調査の結果等を見ながら具体的な場所を検討中です。

JR 山田線の復活の話が中心であったが、釜石線を鶴住居まで延伸するという考えも一つあるのではないかと。

鶴住居と釜石をつなぐことでの夢を引き出すことが重要と思う。銀河鉄道延伸、吉里吉里への観光など夢を語るアプローチも良いかと思う。

- 鉄道が復旧すれば地元住民が使うかと聞かれれば、三陸縦貫道ができれば実態としては難しいと思います。鶴住居では、今後、交流人口の拡大が重要になってきます。
- 本来、民間企業である JR が利用促進策を示す立場だと思います。
- まちづくりにおいて駅前という場所は、重要な拠点。JR の採算だけでない駅を持つ地域貢献性に多いに期待しています。（鶴住居地区復興まちづくり協議会回答）